

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称 : WHS-10 W殺菌薬用ハンドソープ1L
 会社名 : トラスコ中山株式会社
 住所 : 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号
 電話 : 0120-509-849
 FAX : 0120-509-839

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
環境に対する有害性	
吸引呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性（急性）	区分1
水生環境有害性（長期間）	区分2
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



危険



危険



警告

注意喚起語

【危険有害性情報】

重篤な眼の損傷
 発がんのおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 【応急措置】
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
 ただちに医師に連絡すること。
 漏出物を回収すること。
 施錠して保管すること。
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた
 専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【保管】
 【廃棄】

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
 成分及び含有量(wt%)

物質名	化学式又は構造式	CAS No.	含有量(wt%)
水	H ₂ O	7732-18-5	50～90
界面活性剤			
ラウリン酸	CH ₃ (CH ₂) ₁₀ COOH	143-07-7	1～10
ミリスチン酸	CH ₃ (CH ₂) ₁₂ COOH	544-63-8	1～10
ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸 ナトリウム	(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₂ H ₂₆ O ₄ SNa	9004-82-4	4.2
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン	RCONH(CH ₂) ₃ -N(CH ₃) ₂ - CH ₂ -COO	61789-40-0	1～10
ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミン	RCON(CH ₂ CH ₂ OH) ₂	61791-31-9	1～10
中和剤			
ジエタノールアミン	C ₄ H ₁₁ NO ₂	111-42-2	1～5
パール化剤			
ジステアリン酸エチレングリコール	C ₃₈ H ₇₄ O ₄	627-83-8	1～5
殺菌剤			
トリクロサン	C ₁₂ H ₇ Cl ₃ O ₂	3380-34-5	1未満
イソプロピルメチルフェノール	C ₁₀ H ₁₄ O	3228-02-2	1未満
重金属封鎖剤			
エデト酸塩	C ₁₀ H ₁₂ N ₂ Na ₄ O ₈	64-02-8	1未満
防腐剤			
パラオキシ安息香酸エチル	C ₉ H ₁₀ O ₃	120-47-8	1未満
粘度調整剤			
塩化ナトリウム	NaCl	7647-14-5	1～5
エタノール	C ₂ H ₅ OH	64-17-5	0～0.1
pH調整剤			
ジエタノールアミン	C ₄ H ₁₁ NO ₂	111-42-2	裾切値0.1%未満
保湿剤			
グリセリン	C ₃ H ₈ O ₃	56-81-5	1未満
モモ葉エキス	-	84012-34-0	1未満
L-アルギニン	C ₆ H ₁₄ N ₄ O ₂	74-79-3	1未満
アルブチン	-	497-76-7	1未満
リン酸L-アスコルビン酸マグネシウム	-	113170-55-1	1未満

アロエエキス(2)	-	85507-69-3	1未満
N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルヘキサデカナミド	-	-	1未満
ヒアルロン酸ナトリウム	(C14H20NO11Na)n	90767-32-7	1未満
香料	-	-	1未満

※製品中でラウリン酸、ミリスチン酸はジエタノールアミンと中和反応をし、ラウリン酸ジエタノールアミド、ミリスチン酸ジエタノールアミドとなっている。したがって中和剤としてのジエタノールアミンは混合液中に存在しない。

4 応急措置

吸入した場合

: 新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布などで保温し、安静に保ち、必要ならば医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

: 通常の手入れでは必要無いが、もし、発疹や皮膚刺激が生じた場合は使用を中止する。

目に入った場合

: 清浄な水で十分に目を洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は取り除いて洗浄する。症状が軽減しない場合は医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

: 水で口の中をよく洗浄する。水あるいは牛乳を飲ませる。無理に吐かせない。原液を大量に飲んだ場合、嘔吐や下痢症状が激しいなどの場合は医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置

消火剤

: 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、炭酸ガス消火剤、砂、霧状水など。

特定の消火方法

: 火元への燃焼源を断ち、可能な限り風上から消火活動を行なう。周囲の設備などに散水して冷却する。ただしこの製品自体は燃焼しない。

消火を行う者の保護

: 消火作業は適切な保護具（眼鏡、手袋、保護衣、マスク等）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

: 通常の手入れでは有害性は無いが、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

環境に対する注意事項

: 流出したものが河川等に流れ込まないように、環境への配慮を注意をする。

除去方法

: 少量の場合は、漏出液を多量の水で希釈したのち、洗い流す。
多量の場合は、盛土等で囲い、流出防止に努め産業廃棄物として処理する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 使用時は眼に入らない様に注意する。

注意事項

: バクテリア汚染を避けるため、一度液を外に出したら、もとに戻さない。

安全取扱い注意事項

: 飲まないこと。子供の手の届かない所に置く。

保管

適切な保管条件

: 屋内の通気の良い場所で容器を密閉し保管する。

安全な容器包装材料

: 製品使用の容器に準ずる。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

: ミスト及び蒸気が発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。

管理濃度

物質名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度(ACGIH)
水	設定されていない	設定されていない	設定されていない

界面活性剤 ラウリン酸 ミリスチン酸 ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸 ナトリウム ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミン	設定されていない	設定されていない	設定されていない
中和剤 ジエタノールアミン	設定されていない	設定されていない	TWA : 1mg/m ³ (IFV)
パール化剤 ジステアリン酸エチレングリコール	設定されていない	設定されていない	設定されていない
殺菌剤 トリクロサン イソプロピルメチルフェノール	設定されていない	設定されていない	設定されていない
重金属封鎖剤 エド酸塩	設定されていない	設定されていない	設定されていない
防腐剤 パラオキシ安息香酸エチル	設定されていない	設定されていない	設定されていない
粘度調整剤 塩化ナトリウム エタノール	設定されていない	設定されていない	設定されていない
pH調整剤 ジエタノールアミン	設定されていない	設定されていない	TWA : 1mg/m ³ (IFV)
保湿剤 ①グリセリン モモ葉エキス L-アルギニン アルブチン リン酸L-アスコルビン酸マグネシウム アロエエキス(2) N-(ヘキサデシロキシヒドロキシプロピル)- N-ヒドロキシエチルヘキサデカナミド ヒアルロン酸ナトリウム	設定されていない	設定されていない	①TWA 10mg/m ³ (グリセリンミスト)
香料	設定されていない	設定されていない	設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具

: 通常使用では必要無い。

手の保護具

: 通常使用では必要無い。

目の保護具

: 通常使用では必要無いが飛沫する場合には普通型眼鏡等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 通常使用では必要無い。

適切な衛生対策

: 通常使用では必要無い。

9 物理的及び化学的性質

形状	: 中程度の粘性液体
色	: 白色パール状
臭い	: 香料臭
pH	: 8.0~9.5
沸点(°C)	: データなし
融点(°C)	: データなし
凝固点(°C)	: データなし
引火点(°C)	: データなし
発火点(°C)	: データなし
爆発特性(%)	: データなし
下限	: データなし

上限	:	データなし
蒸気圧(KPa)	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
比重(相対密度)	:	データなし
密度(g/cm ³)	:	データなし
溶解性	:	水に可溶(一部解けない物が有る)
n-オクタノール/水分分配係数	:	.
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	:	通常の取扱い条件では安定している。
反応性	:	安定している。
避けるべき条件	:	加熱、混触危険物質(強酸化剤)との接触、火源
危険有害な分解生成物	:	なし

11 有害性情報

急性毒性	:	分類できない
(経口)	:	分類できない
(経皮)	:	分類できない
(吸入:ガス)	:	分類対象外
(吸入:蒸気)	:	分類対象外
(吸入:粉塵、ミスト)	:	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	:	区分1 ウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験(OECD TG 405準拠)が多数報告されており、いずれも中程度の刺激性と評価されているが、虹彩と結膜への影響が21日以内に回復しなかった(SIDS(2012)。重篤な眼の損傷 【ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン】)
	:	区分1 ウサギ、未希釈、OECD405 重篤な眼の損傷 【ラウリン酸ジエタノールアミド】
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	分類できない
(呼吸器感作性)	:	分類できない
(皮膚感作性)	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	区分1A エタノールはACGIHでA3に分類されている(ACGIH(7th, 2012))。また、IARC(2010)では、アルコール飲料の発がん性について多くの疫学データから十分な証拠があることなどから、アルコール飲料に含まれるエタノールの摂取により、エタノール及び主代謝物であるアセトアルデヒドが食道などに悪性腫瘍を誘発することが明らかにされているため。 発がんのおそれ 【エタノール】
生殖毒性	:	分類できない 生殖毒性において混合物のGHS分類では濃度限界値未満および毒性未知成分が含まれているため分類できないとされるが、本製品にはエタノールが0.1%以下含まれているため、純物質エタノールとしては生殖毒性物質区分1A(生殖能又は胎児への悪影響のおそれ)に該当する。(ヒトでは出生前にエタノール摂取すると新生児に胎児性アルコール症候群と称される先天性の奇形を生じることが知られている。奇形には小頭症、短い眼瞼裂、関節、四肢及び心臓の異常、発達期における行動及び認知機能障害が含まれる(PATTY(6th, 2012))。これらはヒトに対するエタノールの生殖毒性を示す確かな証拠と考えられるため、区分1Aとした。なお、胎児性アルコール症候群は妊娠中に大量かつ慢性的にアルコールを飲んだアルコール依存症の女

性と関連している。産業的な経口、経皮、吸入ばく露による胎児性アルコール症候群の報告はない。また、動物実験でも妊娠ラットに経口投与した試験で奇形の発生がみられている。)

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響
: 分類できない

特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露
: 分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露
: 分類できない

吸引性呼吸器有害性
: 分類できない

12 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

: 区分1

藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*)の72時間EC50が0.0034 mg/L(環境省生態影響試験, 2001)

水生生物に非常に強い毒性

【トリクロサン】

: 区分2

藻類(*Scenedesmus subspicatus*)の72時間ErC50 = ca. 1.3 mg/L(SIDS, 2012)

水生生物に毒性

【ヤシ油脂肪酸アミドプロピルベタイン】

: 区分2

生態毒性: ニジマス, 96h, LC50: 5.7 mg/L

残留性・分解性: CO2発生試験(OECD301B): 88%(28日後)

生態蓄積性: データなし

土壤中の移動性: データなし

他の有害影響: BOD5: 0.16 g/g COD(Cr): 2.56 g/g

水生生物に毒性

【ラウリン酸ジエタノールアミド】

: 区分2

藻類(*Scenedesmus subspicatus*)の72時間EC50 = 1.01 mg/L(EU-RAR, 2004, IUCLID, 2000)

水生生物に毒性

【エデト酸塩】

水生環境有害性(慢性)

: 区分1

急性毒性区分1であり、急速分解性がない(難分解性、BODによる分解度:0%(既存点検, 1984))

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 【トリクロサン】

: 区分2

生態毒性: ニジマス, 96h, LC50: 5.7 mg/L

残留性・分解性: CO2発生試験(OECD301B): 88%(28日後)

生態蓄積性: データなし

土壤中の移動性: データなし

他の有害影響: BOD5: 0.16 g/g COD(Cr): 2.56 g/g

水生生物に毒性

【ラウリン酸ジエタノールアミド】

オゾン層への有害性

: 分類できない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄方法

: 焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に適正に委託処理する。

汚染容器・包装の廃棄方法

: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合は内容物を除去したのちに、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に適正に委託処理する。

14 輸送上の注意

国内規制

陸上輸送

: 該当しない。

海上輸送

: 該当しない。

航空輸送

: 該当しない。

国際規制

国連分類

: 該当しない。

国連番号

容器等級 : 該当しない。
: 該当しない。

15 適用法令

【労働安全衛生法】

【法57条(名称等を表示すべき有害物)】

: 該当しない。

【法57条の2(名称等を通知すべき有害物)】

: 該当

【エタノール】 CAS : 64-17-5

政令第18条の2別表第9の61号

: 非該当

【ジエタノールアミン】 CAS : 111-42-2

政令第18条の2別表第9の219号 裾切値0.1%未満のため非該当。）

【化学物質管理促進法 (PRTR法)】

【ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸ナトリウム】 CAS : 9004-82-4

: 法第2条2項、施行令第1条別表第1、第1種指定化学物質

16 その他の情報

製造会社名 : 熊野油脂株式会社

引用文献

JIS Z 7253:2012

NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)ホームページ

中央労働災害防止協会ホームページ

その他の文献・・・原材料／製品メーカーMSDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。